の輪が広がる

己紹介。元気な声に笑顔



演技が一段落し、座って指示を聴く。演出 家に向けられたまなざしは真剣そのもの



演出家の指示も徐々に細かく なる。入念に台本をチェック



試作したばかりの狐の衣装を 着け、動きを入れながら力の 入ったけいこ

年齢差はあっても同じ目的

に向かって進む仲間同士。 休憩時間には話がはずむ



大人と子どもの合同げいこ。 子どもたちの演技も堂に入っ たもの



親子で楽しくわらじ作り。 形になるにつれて、あちこ ちで生き生きした笑顔が

初げいこから1か月。台本を持ちながらの動きを付けた立ちげいちながらの動きを付けた立ちげいたるにつれ、演技にも力が入るで相手の目を見て芝居をしたくなるのはわかります。でも、客席はるのはわかります。でも、客席に見立てお前を指差す。演技者の熱気とた方向を指差す。演技者の熱気とた方向を指差す。演技者の熱気と居を作っていく。 は緊張ぎみだったものの、慣れるは緊張ぎみだったものの、慣れるに従い、熱を帯びてくる。けいこの月は芝居の最後に合唱する歌の練習。子どもたちは、結団式での練習。子どもたちは、結団式でのがいこはを開気が徐々に変わっていく。 に気持ちよさそうに身をゆだねる。一つにまとまっていくメロディーいリズムをこなすように。自然に 立ちげいこ(6月22日~) けいこ場は熱気あふれる

全員で輪になり初めての台本の通 し読み。1時間30分ほどかかった





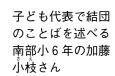
子どもたちも一人ずつ自

参加者同士で せりふの確認 をする姿も

「おー

攸なのにおはようございます?

(5月18日)





歌を歌う前にまずは発声練習。「あくびを するときの声を覚えておいて。この声で 歌うと、遠くまで声が届くんだよ」



楽譜を見ながら大きな声で「♪ぼくらが安城ヶ原を一 駆けていたころー」

午後6時に始まった大人の初げ いこ。参加者が集まり、第一声は いこ。参加者が集まり、第一声は い気味の顔もちらほら。演出を担 当する夏目さんが冒頭にあいさつ。 「こんなに多くの人にご参加をい ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし ただけるとは思っていませんでし たがするとは思っていませんでし たがかませんでしました」という話を、集 まった参加者は、目を輝かせて聞 く。その後、全体の話の流れをつ かむため、台本を通し読み。最初

結団式(5月12日)

ルビアホールを満員にするぞー」のあと、出席者全員が一人ずつ自己紹介。式の締めくくりに全員で元気よく、「8月25日は市民会館サ元気よく、「8月25日は市民会館サルビアホールを満員長のあいさつや参

した雰囲気の中にも笑顔が

は い の る 様子 第7幕

舞台で履くわらじを作ろうと、たくさんの親子が参加。わらの代たくさんの親子が参加。わらの代たりに色の付いたひもを材料にして、慣れない手つきで一生懸命編み上げる。本番当日には、オリジみ上げる。本番当日には、オリジーのでである。 わらじ作り(6月23日)

衣装も自分たちで

- 5 - 広報あんじょう 2002.8.1